

第7回津山市地域公共交通会議 会議録(要旨)

平成22年12月20日 13:30~14:30

津山市役所東庁舎3階 E302会議室

1 開会(事務局)

2 会長挨拶(会長)

3 協議事項

(1)担当区域の移管について 中鉄美作バス 中鉄北部バス

(事務局) 既にご案内のように、市内路線の多くについては中鉄美作バスとH20年11月に中鉄バスより分社した中鉄北部バスに運行していただいているところです。主な路線については、中鉄美作バスについては東循環線と志戸部・野介代方面と横野・田辺方面、中鉄北部バスについては加茂・勝北・久米の支所間ごんごと院庄循環線・高田循環線また行方方面と石越方面また東一宮方面と勝間田方面と榎方面です。本社は中鉄美作バスが勝山、中鉄北部バスが東一宮です。

これまでも利用者からの問い合わせについては双方で双方について対応していただいたところですが、利用者にとっては若干わかりにくい部分があったところです。この度津山市関連路線については中鉄北部バスに統一したいということで、先程申し上げた中鉄美作バスの路線について中鉄北部バスに移管することについてご協議をお願いしたいと思います。お手元の資料1がこちらの関係になります。それでは詳細につきまして、中鉄美作バスからご説明をお願いいたします。

(中鉄美作バス) 今回、中鉄美作バスが津山市内で持っている路線を中鉄北部バスに移管して今後、運営していきたい。そのことについて、承認をいただきたい。路線図のとおりで、横野線、田辺線、野介台団地線の一般路線については平成3年から運行をしてきた。循環ごんご線については、10月1日から東循環線として運行し、支所間バスと中央病院で接続をしている。系統については、8系統で資料の時刻表で運行をしている。

一番の問題は、市内においてかなりの部分が中鉄美作バス、中鉄北部バスで競合あるいは接続しているためお客様からするとわかりにくく、ご迷惑をおかけしている点である。こういった観点から中鉄北部バス1社にまとめて運営していきたいと考えている。中鉄美作バスの津山営業所は撤退する予定である。お客様にわかりやすい、合理的な運行としたい。順調に手続きが進めば、来年4月1日から実施したい。

(会長) 質問等はないか。

(委員) この移管によって、路線の整理や便数の整理はあるのか。

(中鉄美作バス) 現在、整理は考えていない。連携計画により、実証運行等している状況なので現在のままで移管していきたいと考えている。将来のことは、移管後の中鉄北部バスで考えていきたい。

(委員) 窓口が2つあったものを1つにするということか。

(中鉄美作バス) そのとおりである。

(委員) 2社を1つにしたほうが良いという話はだいぶ昔にしたことがあった。

(中鉄美作バス) 移管にあたって、運賃についても現在のものを適用するということで問題はないか。

(委員) 運賃については、さまざまな原価計算等により決まるが、この会議で決まればその運賃となるので、決定できれば合意ということで良いのではないか。

(委員) 会社が変わるということだけであれば問題はないと思う。

(中鉄美作バス) 運賃も含めての承認ということでお願いしたい。

(会長) 承認としてよいか。承認

(2)市営阿波バスの見直しについて

(事務局) 現在市営阿波バスについては市内唯一の直営バスとして運行は(財)あばグリーン公社に委託して運行しているところです。現況の収支は劣悪でH21年度実績で言いますと、950万の経費に対し収入が80万程度と収支率8%といった状況です。この原因は65歳以上は無料といった優遇措置があること、基本運賃が200円と低額であることで、これは一部路線が重複している加茂観光の路線と比較して著しい運賃格差を生んでいます。あわせて現在供用しているボンネットバス車両が限界を迎えている一方で、比較的新しいスクールバス車両が有効に活用できていないという状況でした。本年度より取組を始めている「津山市地域公共交通総合連携計画」に基づく見直しの中で、スクールバス車両を活用して阿波バスの運行・スクールバスの運行を合わせて行い、料金については適正化を図り、経費の削減に努めるという取組について、交通政策課に加え教育委員会の協力を得ながら地元説明を進めた結果10月末に一定の理解が得られたため、11月当初から経費削減のための業者選定を見積比較という形で進めてきたところです。結果としてこれまで運行を委託してきたグリーン公社に引続きお願いすることになりましたが、運賃については見直しを実施することとしました。

新料金表ですが、距離制の考え方を基本に高齢者の利用が多いことから、なるべく小銭を使用しなくてよいような構成としています。これにより加茂観光との極端な運賃格差については一定程度解消できたものと考えています。しかしながら実際の運行にあたっては、これまで無料であったものがいきなり500円というのはあまりに急激な変化でありますので、連携計画にも示していますように当面激変緩和措置として当面半額程度の運行とさせていただきたいと思っております。

ダイヤ・運行本数についてですが、ダイヤについてはこれまであまり利用されていなかった便を使って10月に増便となった加茂ごんごバスとの連絡をはかっております。運行本数については将来的には減便の検討も必要ですが、今回は料金改定のこともあり利用者から見て急激な改悪は好ましくないことから、従前の便にスクールバス便と兼ねる2便の増便を基本として組んでいます。さらにめくっていただいて4枚目が路線図、次が今回供用することになる現行のスクールバス車両です。

8月に更新について協議をいただいたばかりではありますが、連携計画に基づく取組の一環としてご承認方どうぞよろしくお願いいたします。

(会長) 質問等はないか。

(委員) 阿波地域で新ダイヤの説明は納得したという話であったが、そのとき料金についての提示はなかったと思うがどうか。

(事務局) 具体的な運賃表を提示はしていないが、10月末の会議のときに優遇措置の廃止、他の地域との運賃の均衡、激変緩和措置を設けるといった話はさせていただいている。

(会長) 事務局は、地域で了解をいただいていると思っている。

(委員) 料金表を提示して了解を得たほうがよいのではないかと。また、激変緩和措置の期間はいつまでか。食い違いのないようにしないといけない。

(委員) 理解をしてもらっているのではなく、丁寧に理解をってもらうようにしないといけないのではないかと。

(事務局) 10月末の会議でこれまでの一律200円、65歳以上無料といった優遇措置はなくなり、距離制の運賃となる。また急激な変化は好ましくないため1年程度の激変緩和期間を設ける予定であると話をした。

(会長) 今回の提案は、いつから実施か。

(事務局) どこに運行してもらうかによって違ってくる。民間運行であれば4月からの運行は難しいのではないかと考えていたが、あばグリーン公社での運行なので来年の4月からいけるのではないかと考えている。

(会長) 激変緩和措置を本来の料金に戻すときには話をするのか。

(事務局) 前回、話はさせていただいているが、無料が300円に変わることで大きな変化であり利用が減ることも考えられるので、状況をみて相談させていただきたい。

(会長) 事務局としては、利用状況等を勘案しながら進めていきたいということになっているようだ。

(委員) 料金表をきっちりと示してから進めていったほうがあとでもめないと思う。

(委員) 会議には何人出席したのか、同意の印を押してもらっているのか。

(事務局) 料金については、極端な言い方をすればこの場で決まれば地元の反対で覆るものではないという形にはなっている。料金を距離制でいくという話はしている。しかし、大きく変わる事なので激変緩和措置をとり

たいという話もしている。

- (委 員) 具体的な数字を出して地元の説明をしてほしい。
- (事 務 局) 地元にはっきり提示して、了解をとり、3月議会で提案したい。
- (会 長) 激変緩和措置の解除にあたっては、この会議にかけるのか。
- (事 務 局) 今の話と違うことが出てきたら会議にかけて判断をしてもらおう。
- (委 員) 運行業者については、入札で決めたのか。
- (事 務 局) 入札に似た形で見積を比較させていただくことで決めた。
- (委 員) 単純に安いところに決めたのか。
- (事 務 局) 結果としてはそうである。
- (委 員) 安心安全の観点からすると、市町村有償運送より民間運行のほうが規制がきびしいため高くなる。民間運行が可能なものを違う形のほうを選んだというのは、法の趣旨からすると違うと思う。安全性も含めた検討をしてもらったほうがよい。
- (事 務 局) 趣旨はもっともである。現有のスクールバス車両を使用しないといけないということでこのバスは、ステップ数が多く民間事業者をお願いするとしても4条運行は難しい状況で、市町村有償運送とせざるをえないという状況があった。
- (委 員) パリアフリー法で基本的にはノンステップというのがあるが、積雪等の条件により適用除外認定というのがあるが検討しなかったのか。
- (事 務 局) 事務局から直接運輸支局への照会はしていないが、業者のほうからさせていただいている。ご指摘いただいたことはごもっともなことで、今後はその趣旨に従った形にしていきたいと思う。
- (委 員) 運行について、規制遵守するようなことを盛り込むことは可能か。
- (事 務 局) 他の町でしている委託契約のように、安全運行管理を盛り込んだものにしていきたいと考えている。
- (委 員) 委員や運輸支局に相談の無い中で進めてもらうと困る。事前に相談してやっていただきたい。
- (会 長) 今後は、考えのところから皆さんに説明して進めていきたいと思う。
- (委 員) 理解してもらっていると思うということで話を進めると不信感がある。
- (委 員) タクシー協会にも相談をしてほしい。
- (会 長) 今後は事前に相談したり、この会議で説明してそのあとに会議にかけるといったような方法はできるか。
- (事 務 局) 事前に資料を配布したりということで対応したい。
- (委 員) この路線については、かつて中鉄バスが運行していたが安くはできないのか。
- (委 員) かつては中鉄バスがすべてやっていたが、現在の状況ですべてをうまくやることは難しいかもしれない。いずれは自治体のほうに支援をいただかないとできなくなるというのが現状である。
- (会 長) 今後は事前に情報提供する等ですすめていきたいのでよろしくお願

したい。

(委員) 福祉バスを廃止して過疎地有償運送をすると聞いていたが、あばグリーン公社がするのか。

(事務局) 市営阿波バスの見直しのほうが大きな課題なのでこの目途が立ってから福祉バスのことは話をしていきたい。

(委員) 過疎地有償運送は、あばグリーン公社がするのか。

(事務局) 市営阿波バスと福祉バスの話は、まったく別のことである。福祉バスのことはまだ地元提示していない。

(会長) 事務局のほうも急ぎすぎたという点もあるが以後こういったことがないようにしていきたいと思っている。料金については、地元提示していきたい。激変緩和措置をやめるときは協議しながらこの会議で検討し、進めていきたい。

他になければ承認いただきたいと思う。 承認

(3)その他

(会長) その他で何かあるか。 なし

4 その他

(会長) 全体の中で何かあるか。

(委員) 県下でもいろいろとデマンドに取組みがあるが、津山市ではどうか。

(会長) 市の考え方はどうか。

(事務局) 連携計画の中でデマンドタクシーについて 2 系統考えれないかと提案している。福祉バスについて、合併した地域でも谷が多い地区は比較的うまくいっているが、平面的に広がっている地区ではロスが出ている。原因については、バス停留所が遠いということがあるのではないかと考えている。こうした中でこういう地区にデマンドができないかと思っている。一方、旧市内にはバスが通っていないところがたくさんあるが、そこへのバス運行は難しい状況である。そこで小型のデマンドができないかということを考えている。乗合となるので地元のネットワークが必要であり、これができている佐良山地区へ投げかけている。これがうまくいけば全市的に広げていきたいと思っている。

(委員) 公共交通会議の持つ意味は何か。阿波バスでこの会議で決まるとあとは市議会というような話もあったが。

(事務局) 個々の具体的な手続き的には、公共交通会議が全権を持っている。地域としての調整を任されているのがこの会議である。阿波バスについては、市町村有償運送なので市議会の話が出たが通常はこの会議で決定される。

(委員) なおさらこの場でしっかりと協議しないといけないのではないかとと思う。

(事務局) 地域間でいろいろな格差があり、これを是正していきたいと考えて進

めている。

- (委 員) この会議は重要な会議であり、権限があるものだ。
- (会 長) 市内全体の均衡というものも見えていかないといけないというものではないか。
- (事 務 局) 活性化協議会と公共交通会議を同じ会議体でやっているところもある。具体的なことについての決定は、この公共交通会議で行うことになっている。
- (委 員) 委員が団体に帰ったときにしっかりと説明ができるようにしてほしい。この会議の場でしっかりと議論ができるようにしておくようにしてほしい。
- (事 務 局) 次回からは、資料等も事前に出していきたい。
- (会 長) 次からは、円滑に会議がすすむようにしていきたい。

5 閉会(会長)